



2025年4月25日

株式会社ホテル三日月向け 「ポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2025年3月28日（金）、株式会社ホテル三日月（グループ代表 小高 芳宗、代表取締役社長 満間 信樹）に対して、「ポジティブインパクト評価」を実施後に、京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）と連携し、「ポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGsの達成を目指す融資手法です。

当行が実施する「ポジティブインパクト評価」は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同して行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。（<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>）

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

■ホテル三日月グループについて

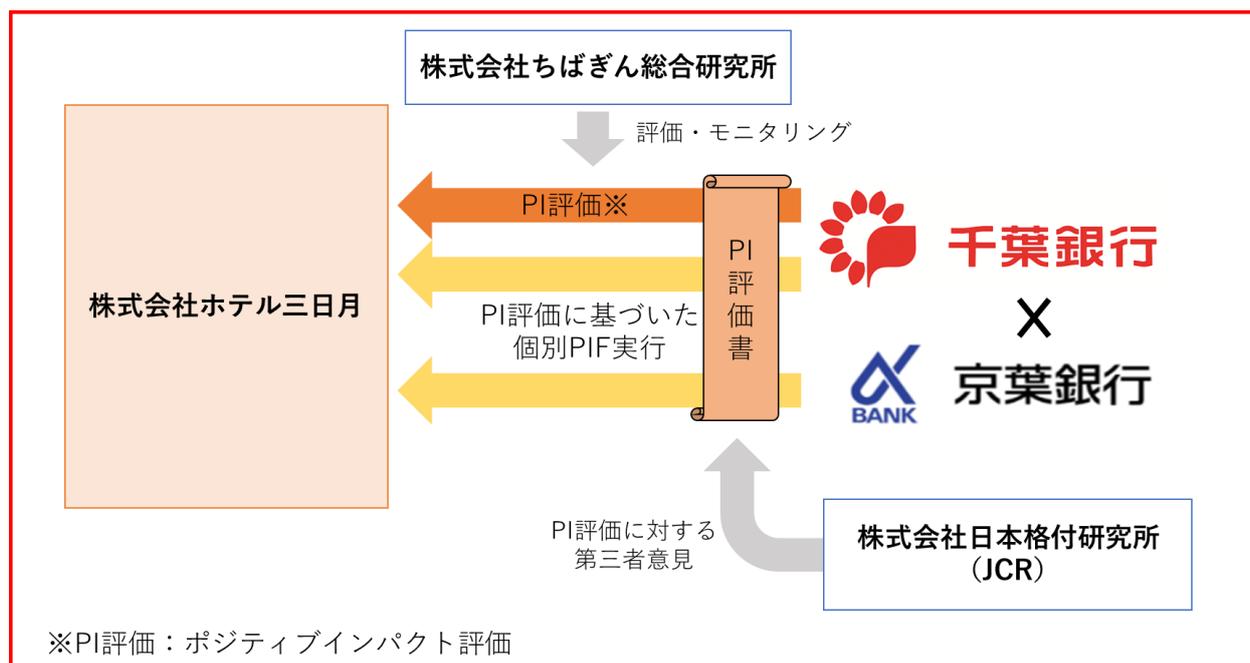
ホテル三日月グループは、「和」の精神をモットーに、お客さまの「寛ぎ・感動・創造」を追求し、観光業のリーディングカンパニーを目指しております。ホテル、レジャー施設、ゴルフ場の運営に加え、太陽光発電事業も手掛けており、千葉県木更津市で運営する「龍宮城スパホテル三日月」は、東京ベイエリアおよび房総周遊の観光拠点として、地域の活性化に貢献しています。また、2022年6月にベトナム・ダナンでグランドオープンした「ダナン三日月ジャパニーズリゾート&スパ」では、全294室の客室すべてがオーシャンビューで、バルコニーからはダナン湾を望む露天風呂も完備。日本文化を体験できる滞在型リゾートとして、グローバル市場へも展開しています。

本ローンで設定するKPIは、有給休暇取得率の向上、外国籍従業員の日本語力向上の支援、食品廃棄物の削減であり、これらの社会面と環境面の取り組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

以上

<スキーム図>



【ポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資金用途	運転資金または設備資金（特定の資金用途に限定しません）
融資金額	100百万円以上
融資利率	当行所定利率
融資期間	原則、3年以上
K P I (目標)	SDGs達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてKPIを設定していただきます。 (1) 1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

以上